

緩和ケアチーム

NEWS



2016年12月号 通算 32号

発行

横浜南共済病院 緩和ケアチーム
藤澤 順

編集

横浜南共済病院 緩和ケアチーム

NEWS



地域の緩和ケア病棟として



4月に緩和ケア病棟がオープンしました。緩和ケア病棟、どんなイメージでしょうか。看取る場所？そういうイメージの方も多いと思います。しかしここでは、旅立ちの時までを「生きる場所」と考えています。病棟の理念も『がん患者さんのつらさをやわらげ、“生きる”を支える』であり、苦痛を取り除くための検査や治療も積極的に行っています。またいろいろな職種の方に参加頂き全人的に苦痛を取り除けるよう心がけています。

神奈川県内の緩和ケア病棟・ホスピスの多くは国道1号沿いとその北側にあり、横浜の南方～三浦半島には衣笠病院のみでした。平成25年の金沢区・横須賀市・鎌倉市・逗子市・葉山町におけるがん患者死亡数2500人/年程度とされています。そんな中、当病棟が開設しましたが、関わることのできる患者数は200-300人/年程度と推測されています。実際に徐々に患者さんも増え、面談の待機期間も増えてきています。



地域の緩和ケア病棟として、利用状況や社会環境の変化により柔軟な運用が必要と考えていますので、何かありましたらご意見いただければと存じます。また関わった患者さんが入棟された際には、患者さんが大変喜ばれますので、ぜひ足をお運び頂き、私たちにも印象などお聞かせください。皆様の緩和ケア病棟としての役割を發揮できるよう育てていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。

緩和支持療法科 馬渡弘典



※ 緩和ケア病棟についての詳細・申し込み方法については当院ホームページをご覧ください。

お知らせ

・みなみ QOL 研究会 **がん患者の「その人らしさ」をみんなで考えよう**

場所: 講堂棟 2階 講堂1

日時: 平成 29年 1月 17日(火) 17時45分～19時00分

平成 29年 2月 21日(火) 17時45分～19時00分

